

松平家と士族―各町協議集にみる成田町の課題―

明治6年(1873)2月、旧忍藩士である士族が居住していた忍城と武家地―帯を成田町と称するようになりました。ここで廢藩置縣により職を失った士族たちは生計を立てるとともに、町を維持していくための課題にも対応しなければなりませんでした。

一方、元藩主松平忠敬は廢藩後東京の屋敷で生活していましたが、明治5年に英国へ留学し同10年に帰国しました。この間松平家の家政は旧家臣が担っていたのですが、彼らにも地元の士族たちの生活の様子は伝わっていません。明治8年に松平家の資産が



各町協議集(郷土博物館所蔵)

ら学資金として1千円が寄付されました。さらに帰国した忠敬は年間1千円を15年間、合計1万5千円を下賜することとしました。これを受けて成田町は町内外の士族に対して、下賜金の使用方法について意見を募りました。

このとき提出された回答書を写したものが「各町協議集」という名で残されています。集まった回答には、学校建設や国産会社設立、沼地の開墾に充てる他、橋梁費や戸籍作成費用などに使うなどの意見や、10年分をまとめてもらい運用して利益を得たい、士族たちに分配してほしいとの希望もありました。これらから当時の町の課題は生活窮乏対策に加えて学校建設費と忍城内に架かる橋梁や沼地に関する費用だったことが分かります。

学校建設については明治15年の進脩館小学校校舎建設に至りましたが、下賜金自体は諸事情により中断されました。しかし、この回答からは、当座に必要な事務経費に加えて、産業振興や将来を見据えての運用など、旧藩主の援助を得て成田町を維持発展させていく「まちづくり」への士族たちの意識がみてとれます。

(郷土博物館 鈴木紀三雄)

はじめまして



令和3年4月生まれのおともだち

令和3年6月生まれのお子さんを募集します

- 4月1日(金)~28日(木)に電話またはEメールで広報広聴課(内線318) ※応募要領は市ホームページをご覧ください。
- 応募者多数の場合は、5月2日(月)午前11時から市役所203会議室で公開抽選を行います。



窪田 和桜ちゃん(門井町)
令和3年4月6日生まれ
父・岳領さん 母・絢美さん
「みんなと一緒に
いっぱい遊ぼうね!!」



横山 蒼真ちゃん(小敷田)
令和3年4月14日生まれ
父・優さん 母・梨沙さん
「沢山笑って
元気に育ってね!」



遠藤 菜桜ちゃん(緑町)
令和3年4月13日生まれ
父・慎吾さん 母・由香理さん
「菜桜の笑顔が大好き♡
パパとママの宝物♡」



野牧 綾乃ちゃん(城西)
令和3年4月8日生まれ
父・雅也さん 母・真衣さん
「あーちゃん大好き♡
毎日楽しいよ!」



田口 世柎ちゃん(小見)
令和3年4月28日生まれ
父・誠さん 母・晶恵さん
「癒やしの存在♡これからも
元気に成長してね!」



勝田 颯ちゃん(埼玉)
令和3年4月2日生まれ
父・聡さん 母・美香さん
「いつも癒しをありがとう♡」

今月の表紙

私たちの食を支えている農業。全国的に農家数が減少し、担い手不足や耕作放棄地の増加が深刻となっています。その一方で、農業に魅力を感じ後継者として就農する方や、仕事を辞め新たに挑戦する方もいます。

今月は、就農までの流れをお知らせするとともに、市内で活躍する若手就農者の姿を通して、農業の魅力を探ります。



現在の友だち登録数 28,300人!

行田市公式LINEの
友だち登録はこちらから!

●市政・イベント・防災などに関する行政情報を発信します。

ホームページ <https://www.city.gyoda.lg.jp>



環境にやさしい
植物油インキ

市報ぎょうだは
再生紙を
使用しています